

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 7 日

評価対象事業	文観	-	21	海水浴場運営事業				☐ 法定受託事務	
所管課	観光課				評価者	観光課長 中澤 準			
一般	会計	款	40	項	05	目	15		
総合計画上の位置付け	分野名	観光			施策の方針名		観光基盤の整備・充実		

1 事業の目的

対象	海水浴客等	意図	海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につなげる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	海水浴場の運営	海水浴場の運営	海水浴場の運営
予算額（千円）	129,919	132,334	
国県支出金			
地方債			
その他		481	
一般財源	129,919	131,853	0
当初人員配置数	1.5	1.5	0.0
人件費（千円）	12,806	13,239	0
事業実績	海水浴場の運営		
決算額（千円）	122,321		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	122,321	0	0
人員配置実績数	1.5	1.5	0.0
人件費（千円）	12,425	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	開設日数	日	62	⇒	62		
	実績につながる活動	安全、安心な海水浴場の運営を行うために様々な業務委託を実施している。				122,321		
活2	指標名	海水浴場におけるマナー啓発を行う警備員の配置日数	回	62	⇒	62		
	実績につながる活動	警備員による海水浴場の状況や注意事項の情報提供を行う				11,236		
活3	指標名	海水浴場開設時間中の事故件数	日	0	⇒	0		
	実績につながる活動	海水浴場の監視業務を委託して実施する				42,564		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	天候不良が少なかったことから、水難事故等が発生せず、無事故日数を継続できた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	海水浴客数	人	299,470	↗	446,320			1 2
成2								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候や天災
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	天候が良い日が多かったため、多くの海水浴客数が訪れた。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	安心安全な海水浴場を適正に運営したことで多くの海水浴客数が訪れた。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	市民や観光客が安全で安心できる海水浴場となるよう、引き続き安全対策、風紀維持に努めながら、海水浴場利用による観光客の分散化につながるような施策を検討する。				上位施策への寄与度
					A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項		海水浴客数（上段：令和7年度、令和6年度）							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	446,320	1,783,782	113,000	10,658	6,463	11,375	94,371	245,200	145,502
	299,470	1,499,822	117,500	10,823	5,592	22,850	85,148	214,900	39,710
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		県内の海水浴場の中でも多くの海水浴客が訪れており、古くから親しまれている海水浴場であるが、近年では騒音や臭気の問題など、課題も多い状況である。海水浴客と周辺住民双方が満足する海水浴場運営を進めていく上で、事業規模の拡大縮小を検討する際の一つの指標として、今後も引き続き推移を見守る必要がある。							